

# 「総合的な学習」

## 1. 目的

1年次に行った「産業社会と人間」の授業で学んだ内容をさらに深め、発展させるのがこの時間の目標です。生徒が各教科等の学習で得た個々の知識と「産業社会と人間」の内容を結びつけ、自己実現に向けた継続的な取り組みを目指し、「知る」というテーマのもと、次の目的を設定しました。

- (1) 環境問題、平和、災害、人間観など様々な事柄について幅広くとらえ、多様な角度から学習する。
- (2) 進路実現のために必要な科目選択を行い、進路に対する意識を高める。
- (3) 修学旅行において、普段とは違う環境を体験することで新しい発見、価値観を育む。また、系列別研修では関係施設を訪問し、自分の進路実現のための礎とする。
- (4) 3年次に行う課題研究のテーマを設定し、年間計画を立てることでこれまでに培った「考える力」「問題を解決する力」を具体的に表現する。

## 2. 年間計画（木曜日6校時）

月	日	内 容	備 考
4	11	総合学習オリエンテーション	研究部、学年主任
	18	講話「本校の進学・就職の現状について」	研究部
	25	進路学習「ハローワークインターネット学習」①	学級担任
5	9	進路学習「ハローワークインターネット学習」②	学級担任
	23	自由選択科目の説明	研究部
	30	科目選択の要領について	研究部
6	6	科目選択に関する面談①	学級担任
	13	科目選択に関する面談②	学級担任
	20	科目選択に関する面談③	学級担任
	27	時事学習 講話「アサーティブなコミュニケーション」	長崎ウエスレヤン大 開先生
7	11	夏休みの課題について 科目選択に関する面談④	学級担任
8	29	夏休み課題発表会準備	学級担任
9	12	夏休み課題クラス発表①「沖縄文化」	学級担任
	19	夏休み課題クラス発表②「沖縄平和学習」	学級担任
	26	卒業生からのメッセージ	研究部 卒業生6名
10	10	夏休み課題学年発表会（パワーポイント）	研究部
	17	修学旅行事前学習①DVD視聴 「沖縄全戦没者追悼式」	研究部
	24	修学旅行事前学習①（班・部屋決め）	学年主任
	31	修学旅行事前学習②（旅程説明）	学年主任

11	7	修学旅行事前学習③（旅行社からの説明）	近畿日本ツーリスト
	14	進路学習「演劇鑑賞」	ライセンスアカデミー
	21	修学旅行事前学習④（注意事項説明）	学年主任
12	5	修学旅行事前学習⑤（班別行動等確認）	学年主任
	19	課題研究テーマ設定①	研究部
1	9	課題研究テーマ設定②	研究部
	16	進路研究①（進学・就職別）	進路指導部
	23	進路研究②（進学・就職別）	進路指導部
	30	総合学科発表会準備①	研究部・学年主任
2	6	総合学科発表会準備②	研究部・学年主任
	13	総合学科発表会	研究部・学年主任
3	6	一年をふり返って	学級担任

### 3. 学習内容

「総合的な学習」では、上記の目的のように自己実現に向けて、2つの大きなテーマに従って様々な取り組みを行ってきました。

- (1)『進路』について                      本校の進学・就職の現状、進路ガイダンス  
卒業生からのメッセージ、3年次の科目選択・課題研究
- (2)『修学旅行』について              平和学習や沖縄の文化について

それぞれのテーマに沿って、その主な取り組みを紹介します。

#### (1)『進路』について

『仕事について調べよう！』4月25日・5月9日実施

パソコンでハローワークインターネットサービスを検索し、現実の求人情報を閲覧しました。まず、自分の将来の職業について考えました。その後、自分の希望の職種、給与、休暇、勤務地など様々な条件を入力すると、その条件にヒットする求人票が出力されます。給料を高めに入力したり、休暇日数を多めに入力すると、求人票はほとんど出てきません。逆に様々な条件を緩和するとヒットする求人票の数が増えました。この活動を通して、自分が望む全ての条件を満たす求人はほとんどないことや、労使間の契約条件の厳しさについて理解することができました。

～生徒の感想より～

求人票に書いてあることは難しかったけど自分が今なりたいと思っている職業は一応見つかったので良かったです。だけど想像以上に休みや給料が少なく、大変だとも思いました。自分の希望している職業に就くには短大に進学して資格を取らなくてはなりません。それに向けて頑張っていこうと思いました。

今回の授業は仕事について考える良い機会でした。調べてみると自分が思っている理想と現実はとても違っていました。例えば月給が高くてもボーナスが無かったり休みが少なかったりします。仕事を決めるのは大変なのがありました。

#### 『3年次の科目選択』 5月23日～

2年次よりそれぞれ希望の系列に分かれ、専門的な学習を始めています。今年度の科目選択はさらに専門性を深め、将来の具体的な進路実現へむけて必要な科目の選択を担当、教科担当者の指導のもと行いました。昨年度作成された「科目選択の手引き」を使い、さまざまな可能性を考えながら選択することができました。



#### 『卒業生からのメッセージ』 9月26日実施

9月26日には本校を卒業し、社会人として頑張っている5人の先輩方をお招きしました。先輩方はかつて同じ学び舎を巣立った高校生でしたが、現在就いている仕事は様々です。先輩方は総合学科である本校でそれぞれの系列に分かれて学んだことを活かしてそれぞれの進路へと進み、実社会で活躍しています。授業では先輩方の高校時代の思い出や、やっておけばよかったと思うこと、現在の職業の大変さについて話していただきました。先輩方は異口同音に高校生活での楽しい思い出や社会の大変さなどを自分の言葉で生徒に語りかけてくれました。生徒達は高校生活が短いことを改めて実感し、この貴重な時間を無駄にはしないことを改めて知る良い機会となりました。

＝メッセージを発表した先輩＝

- |        |          |                     |
|--------|----------|---------------------|
| H17年卒業 | 川本 幸平さん  | (農業自営)              |
| H17年卒業 | 晦日 博之さん  | (長崎県警 諫早警察署勤務)      |
| H22年卒業 | 坂口 南さん   | (パティスリー ルフ勤務)       |
| H22年卒業 | 木佐貫あゆみさん | (介護福祉士 ろうけん西諫早病院勤務) |
| H23年卒業 | 山口 諒さん   | (福祉施設 慈恵荘勤務)        |



＝生徒が書いた先輩へのお礼＝

～晦日さん（警察官）へ～

今日はお忙しい中、私達のためにお話していただきありがとうございました。僕はボートを漕いでいる晦日先輩しか知りません。今日は現場での貴重なお話を聞くことができました。私は先輩が交通事故の現場で働いている姿を見ました。そのときは落ち着いて対応し、応援を呼んだり事故車を移動させたりするなど対処がとても仕事ぶりがスピーディーでかっこよかったです。晦日先輩は「素直さ」をしっかりと身につけるようにおっしゃいました。自分のことを振り返ってみるとその点足りない部分があると思います。社会に出ての原則は「最初は言われたとおりやってみる」こと。これを残りの学校生活で実践していきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

～坂口さん（パティシエ）へ～

お忙しい中、母校まで来てくださりありがとうございました。今日はパティシエの仕事内容や坂口さんが高校時代どのようなことを学んでいらっやったのかを知ることができてとても勉強になりました。パティシエはとても体力が必要な仕事であり部活動で培った粘り強さと、系列で学んだ専門的な知識が職場で活かすことができるということを知ることができました。社会人として必要なこと「欠席や遅刻をしない」ということは私達が学校で繰り返し指導されていることです。今の私にはかけている部分だったので、今後の学校生活を真面目に過ごすべきだと思いました。

『課題研究テーマ設定』 12月19日、1月9日実施

3年次で行う「課題研究」のテーマ設定を2年次の1月より行い、年間を通した計画を立てます。これにより自主性を育み、これまでに得た知識や技能の進化、統合を図るという目的があります。これまでの3年生が取り組んだ内容を参考にしながら、自分が取り組むものをそれぞれ決定します。この際、各教科担当の先生に個人的にアドバイスしていただきます。

## （2）『時事学習』について

① 5月31日実施

題目「自己理解・他者理解：アサーティブなコミュニケーションについて理解する」

講師 開 浩一 氏

長崎ウエスレヤン大学現代社会学部社会福祉学科講師

アサーティブなコミュニケーションとは自分の意見をはっきり述べると同時に他者の意見にも耳を傾け、その意見を尊重することです。講演では「買い物の列に並んでいる最中に前へ割り込まれた場合」など簡単な欲求不満の状態を設定し、想定される様々なやりとりについて考えました。激怒する人、モジモジして自己主張ができない人、自分の立場を落ち着

いて主張する人、様々な表現方法があります。人間は人と人との係わり合いの中で生きていきます。アサーティブなコミュニケーションスキルを身に付けることはお互いを尊重しあう人間性を養うことです。

～生徒の感想より～

アサーティブネス＝自己主張する！自己主張するからと言って攻撃的なタイプにならず自己犠牲的にもならず、攻撃性を隠さず、自分の意見をはっきり言って相手の意見もしっかり聞くことが大事なのがありました。自分はオロロタイプ（受け身タイプ）なので自分の意見をはっきり言えるようになりたいと思います。人と人は対等でありたいと思います。



「平和学習に関

### （3）『修学旅行』に関する事前学習

①夏休みの課題 沖縄文化・平和学習発表会 9月12、19日 10月10日実施

修学旅行の事前学習として、「総合的な学習の時間」の中の夏季休業中課題として、「沖縄（琉球）文化に関するレポート」と「平和学習に関するレポート」との二つを課し、その後の授業の中でクラス・学年での発表会を実施しました。学年全体の発表会では、クラスで選出された以下の発表を聞きました。



	沖縄（琉球）文化に関すること		平和学習に関すること	
2年1組	石井 花音	沖縄の観光名所	田中 里穂	ひめゆり学徒隊
2年2組	岩崎 夏海	沖縄の音楽	山口 優菜	沖縄戦について
2年3組	早田 弥紘	沖縄の方言	水元 美月	平和の礎について
2年4組	田口 侑里	沖縄の食文化	永石 諒太	沖縄戦について

②修学旅行事前学習①DVD視聴「沖縄全戦没者追悼式」 10月17日実施



6月23日は沖縄県県民が祈りを捧げる「慰霊の日」です。1945（昭和20）年6月23日、沖縄を防衛していた第32軍司令官牛島満中将（戦死後に大將に昇進）が自決し日本軍の組織的な戦闘が終わりました。敗戦以降、沖縄県は1972年まで27年間もの間米軍の軍政統治となり、本土に復帰した現在でも多くの米軍基地を抱え苦難

の歴史が続いています。「沖縄全戦没者追悼式」を2学年全員で視聴し、沖縄県民が毎年6月23日に「平和の礎」の前で不戦の誓いを行うことを学びました。式典で演説を行ったのは仲井眞沖縄県知事、安倍総理大臣、そして日本最西端に位置する小学校である与那国町立久部良小学校1年の安里有生（あさとゆうき）君（6歳）でした。安里君は常夏のふるさとである沖縄県を素朴な表現の詩にして「平和っていいね」と演説しました。

～生徒の感想より～

小学1年生の男の子の詩がとても印象的でした。誰もが笑顔で仲良く暮らせることが嬉しい、戦争は悲しい、恐ろしいという当たり前のことがとても大切なことです。たくさんの方々が亡くなられた戦争の恐ろしさを後世に伝え、二度と繰り返してはならないと思います。そのためにも修学旅行では沖縄戦についてよく学び理解したいです。

### 総合学習の風景

